

日本音楽集団
PRO MUSICA NIPPONIA

第223回定期演奏会
The 223rd Regular Concert



三本の糸の小宇宙～三味線特集

SHAMISEN



演出：山崎千鶴子
構成：原郷隆
舞台監督：中島隆

2018年1月30日[火]19時開演(18時30分開場) 豊洲シビックセンターホール

主催：特定非営利活動法人日本音楽集団

助成：平成29年度文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

後援：公益財団法人日本伝統文化振興財団
JAPAN TRADITIONAL CULTURES FOUNDATION

■ 日本音楽集団：<http://www.promusica.or.jp/>



Facebookファンページ: promusicanipponia



三本の糸の小宇宙～三味線特集

1、呼 応 杵屋 正邦作曲(1964年)

〔長唄三味線Ⅰ〕長井 麻江

〔長唄三味線Ⅱ〕守 啓伊子

作曲者は当初演奏家としても作曲家としても活躍していましたが、この作品は作曲活動のみに専念していた時期の作品です。同じ調絃による長唄三味線のための二重奏曲で、清掻(スガガキ:交互演奏)の手法を取り入れています。このため追いつ追われつ終始緊迫感をともなって演奏されます。

2、春三題 長澤 勝俊作曲(1977年)

1 若草 2 陽炎(かげろう) 3 花吹雪

〔地歌三味線〕穂積 大志

〔箏〕三宅 礼子

春によせる三つの心象的なスケッチです。各章ともにそれぞれ題名がついていますが、いわゆる描写音楽ではありません。四季の変化に富んだ日本。特に日本の春は急速にやってくる北国の春と違い、おだやかで心もなごむものです。

しかしそのなごやかさの中にも、ささやかな新しい生命の誕生と躍動が私たちに生きていることの喜びを感じさせます。地歌三味線と箏の二重奏という伝統の土壌に深く根をおろした組み合わせをとりながら、従来の手事とは異なったアングルから作曲者の春への思いが歌われています。

なお、この曲は<森の会>の委嘱により作曲され、同会の第18回定期演奏会で初演されました。

3、二棹の三味線のための「序破急」 佐藤 敏直作曲(2000年)

〔長唄三味線〕杵家 七三

〔低音三味線〕簗田 弘大

冒頭ファ#・ソラ#・ド#・ミシの音列で始まりますが、全体はこの関係が基本となって、多様に展開されます。文字通り「序」はテーマの提示で導入部分、「破」は一つの展開、「急」は、さらなる速さや「ま」の異なった場面への発展と、三つの部分からなっていて、切れ目無く演奏されます。三味線のために親切的な音楽になったとはとても思えませんが、太棹と細棹の対比が明確に出て音楽の綾が一層深まることを祈っています。(佐藤敏直 初演プログラムより)

〔三味線の種類について〕

長唄三味線 細棹。歌舞伎などの長唄で演奏される。象牙の駒と象牙の小ぶりの撥を使い、細めの糸で明るく華やかな音色と鮮やかな撥さばきが特徴。

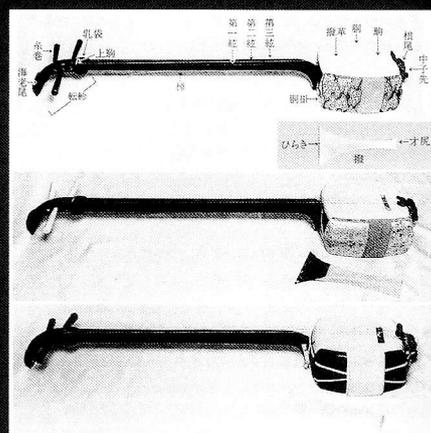
地歌三味線 中棹。地歌・箏曲で、箏や尺八とともに演奏され、「三絃」の名称はこの三味線を指す。鉛入りの駒と津山撥と呼ばれる大型の撥を使い、しっとりとした艶のある音色。

低音三味線 長唄や端唄などのジャンルで 低音域を出すために作られた比較的历史の新しい三味線。

棹の太さや駒、撥は素材や大きさに少しずつ違いがあるが、 棹は長め(太め)、胴は大きめ、太い糸を張るなど全体的に大きめになっているのが特徴。(今回は水牛の角の駒と木撥を使用する。)

義太夫三味線 太棹。人形浄瑠璃、文楽で浄瑠璃語りと共に演奏される。鉛入りの高く重い水牛の角の駒と、象牙の厚い大型の撥を使い、糸も太く重厚な低音。

津軽三味線 太棹。津軽地方の民謡の伴奏や、三味線のみでの独奏(曲弾き)などが有名。竹に象牙を仕込んだ低めの駒と、先端が鼈甲の小ぶりの撥を使用し、迫力ある音色の叩き撥や速弾きなど技巧を凝らした奏法が特徴。



細棹(上)・中棹(中)・太棹(下)

三木裕著「日本楽器法」より

4. 名曲メドレー feat. 三味線

三味線協奏曲 ～ 清滝三重 ～ ダンス・コンセルタントI「四季」～ 子供のための組曲

〔笛〕 竹井 誠 あかる 潤	〔琵琶〕 久保田 晶子
〔尺八I〕 米澤 浩 渡辺 淳 田野村 聡	〔箏I〕 桜井 智永 伊藤 麻衣子
〔尺八II〕 阪口 夕山 原郷 隆	〔箏II〕 三宅 礼子 石井 香奈
※但し「子供のための組曲」では	〔十七絃〕 久本 桂子 丸岡 映美
〔尺八I〕 米澤 浩 渡辺 淳	〔打楽器〕 尾崎 太一 伊藤 翼 (助演)
〔尺八II〕 竹井 誠 原郷 隆	〔指揮〕 田中 元樹
〔尺八III〕 阪口 夕山 田野村 聡	
〔三味線〕 杵家 七三 箕田 司郎 山崎 千鶴子	
穂積 大志 守 啓伊子 箕田 弘大	
長井 麻江 二代目三山 貢正	
※「三味線協奏曲」カデンツァ：杵家 七三	
「清滝三重」 箕田 弘大 山崎 千鶴子	

日本音楽集団のいわば十八番となっているおなじみの曲から、とりわけ三味線が活躍する楽章をメドレーでお送ります。

〔三味線協奏曲〕からは細棹三味線で、華やかで鮮やかな第1章 (長澤勝俊作曲)
 〔清滝三重〕は長唄三味線の二重奏で、演奏しながら頻りに調絃を変えるという難曲 (古典)
 〔ダンス・コンセルタントI 四季〕からは静謐で美しいメロディの第2章「水巡る」 (三木稔作曲)
 〔子供のための組曲〕からは激しく律動的な第5章 (長澤勝俊作曲)

5. 三味線トリオコンチェルト 9つの色は友と未来をかける！

福嶋 頼秀作曲(委嘱初演)

〔長唄三味線〕 箕田 司郎	〔二十絃I〕 桜井 智永 伊藤 麻衣子
〔津軽三味線〕 二代目三山 貢正	〔二十絃II〕 三宅 礼子 石井 香奈
〔義太夫三味線〕 山崎 千鶴子	〔十七絃〕 久本 桂子 丸岡 映美
〔笛〕 竹井 誠 あかる 潤	〔打楽器〕 盧 慶順 細谷 一郎 (助演)
〔尺八I〕 阪口 夕山 原郷 隆	〔指揮〕 稲田 康
〔尺八II〕 渡辺 淳 田野村 聡	

艶の長唄三味線、華の津軽三味線、泣きの義太夫三味線。

三味線は種類が違えば、まるで別の楽器かのように音色や世界観が異なる。さらに一つの楽器でも、糸の張力の違いから3つの絃それぞれにカラーがある。この曲の聴き所の一つはもちろん、ソリストたちが奏でる3×3=9つの音色の組み合わせの妙である。

そしてそれだけではなく、ソロを包み込む邦楽合奏の響きにも、ぜひとも耳を傾けて頂きたい。合奏は、笛／尺八1・2／箏1・2／十七絃／打楽器1・2の、合計8パートからなるのだが…楽章ごとに楽器の組み合わせが異なり、色彩が大きく変化する。

- <第1楽章>さまざまなキャラクターの音楽が次々登場。
不協和音に沖縄テイストと支離滅裂な様だが、他楽章にも登場する重要なモチーフが多い(打楽器は休み)。
- <第2楽章>長唄三味線のソロが先導する軽妙洒脱な音楽(管楽器は休み)。
- <第3楽章>義太夫三味線を中心に展開するエレジー(箏群は休み)。
- <第4楽章>全ての楽器がリズムに活躍する生き生きとした楽章。
津軽三味線のアドリブにもぜひ注目を。

今宵、9つの色は友と未来をかけてくれるであろう！

(福嶋 頼秀)

笛
あか 潤
遠藤 悠紀
新保 有生
竹井 誠 (尺八)
西川 浩平

笙
三浦 はな ※

箏
西原 祐二
三浦 元則

尺八
大賀 悠司 ※
阪口 夕山 ※
田野 村聡
原郷 隆
藤崎 重康 (笛)

三橋 貴風
元永 拓
米澤 浩
渡辺 淳

三味線
杵家 七三
長井 麻江
二代目 三山 貢正 ※
穂積 大志 ※
簗田 弘大
簗田 啓司
守伊 郎子
山崎 千鶴子

琵琶
久保田 晶子
首藤 久美子
田原 順子
藤高 理恵子

箏
石井 奈子
伊藤 麻衣子
岡山 亮子
久東 寿子
熊沢 利子
桜井 智永美 ※
佐藤 里美 ※
島崎 春美 ※
城ヶ崎 美保子 ※
久本 桂子
丸岡 映礼美子
三田 明美子
渡辺 正子

打楽器
臼杵 美智代
尾崎 太一 ※
島村 聖香 ※

多田 恵子
山内 利一
盧 慶順

指揮
稲田 康
田中 元樹
田村 拓男
苫米地 英一

作曲
秋岸 寛久
川崎 絵都夫 ※
篠田 大介
高橋 久美子
福嶋 頼秀

アートマネージメント
大西 愛子 ※

楽器・舞台
中島 隆

名誉代表
田村 拓男

代表
尾崎 太一

副代表
米澤 浩

運営委員
田野 村聡
苫米地 英一
原郷 隆
久本 桂子
福嶋 頼秀
元永 拓
山崎 千鶴子

監事
田村 拓男
三田村 典昭

事務局
中山 美穂子

永久名誉団員
長澤 勝俊

(楽器別・五十音順)
2018年1月現在、
※は休団中

● 賛助会員へのお誘い ●

1999年10月、特定非営利活動法人日本音楽集団が発足したのを契機に、賛助会員を募集しています。多くの方々からの支援を仰ぎ、息の長い活動の定着と発展を目指したく、ご協力をお願い申し上げます。

年間 個人会員10,000円(一口以上) 法人会員30,000円(一口以上)

【賛助会員】(口数・五十音順)

[法人会員]

青和観光株式会社 代表取締役 青木茂
株式会社青和トラフィック 代表取締役 青木茂
日凸運送株式会社
(有)邦楽ジャーナル 代表取締役 田中隆文
神戸レコードクラブ/宅音便(有限会社 文)
株式会社青和運輸

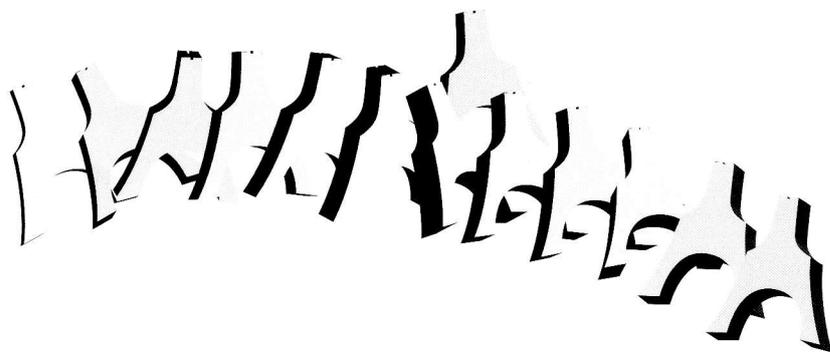
[個人会員]

山本 福八
*
池田 玖莉子
柿崎 やよい
金子 宜弘

小池 節子
佐藤 裕美
佐藤 玲子
添川 慎二
東谷 仁

友杉 毅
富山 優子
堀 保之
三宅 一徳
元永 明希

元永美代子
森 繁美
森 博明
山本 友英
その他1名
(2017年9月現在)



株式会社 琴光堂

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷2-19-15

TEL03(3792) 8481 FAX03(3792) 8437 URL: <http://kinko-do.com> E-mail: tokyo@kinko-do.com

特定非営利活動法人

日本音楽集団

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビルB1 TEL03-3378-4741 FAX03-3376-2033
ホームページ <http://www.promusica.or.jp>